

タイトル 同和問題について考えよう				
テーマ・目標 同和問題に関する具体的な事例について考えたり話し合ったりすることを通して、同和問題についての理解と認識を深め、問題を解決しようとする態度を身に付ける。				
対象者／人数 () / ()人			日程・時間	目安の時間 80分
時間	ねらい	場面／アクティビティ／問い		場の設定
1 10分	本日の研修の雰囲気づくりをし、本日のテーマに入りやすくする。	導入：自己紹介 ○ファシリテーターのあいさつ ○用紙を9等分した「自己紹介シート」を活用し、自己紹介タイムをとる。		グループ 〈4～5人〉 【自己紹介シート】
2 15分	同和問題に関する、人権上の問題点について考える。	展開①：ディスカッション「現状を知る」 ○法務省の人権啓発動画「『誰か』のことじゃない。」（部落差別編）を視聴し、同和問題について知る。 ○同和問題に関連して、現在どのような問題が起きているのかをワークシートに書き出し、ペアで考えたことを出し合う。 ○いくつかのペアに発表してもらい、全体で共有する。		ペア 〈2人〉 【ワークシート】
3 20分	具体的な場면을想定し、自身の対応について考え、話し合う。	展開②：ブレインストーミング「自分ならどうする？」 ○具体的な場면을想定し、自分ならどう行動するかについて考え、ワークシートにまとめる。 ○グループ内で、自分の考えとその理由を紹介し合い、話し合う。		グループ 〈4～5人〉 【ワークシート】
4 25分	同和問題の解決に向けて、どのようなことができるかについて話し合い、まとめる。	展開③：ウォールライティング「私たちにできること」 ○同和問題に関する人権上の問題の解決に向けて、何ができるかについて考える。 ○付せん紙に記入したことを、互いに紹介して模造紙にはっていく。その時に、同じ意見や似た意見を分類し、タイトルをつけるなどして整理する。 ○グループで話し合った内容について、模造紙を提示しながら順番に発表する。		グループ 〈4～5人〉 【付せん紙 模造紙 マーカーペン】
5 10分	研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。	まとめ：振り返り ○研修を通して学習したことを、今後どのように生活に生かしていくかをワークシートにまとめる。 ○感想を数名に発表してもらう。 ○ファシリテーターの話。		【ワークシート】
準備物 ・自己紹介シート ・ワークシート ・付せん紙 ・模造紙 ・マーカーペン				



同和問題について考えよう

【1】同和問題に関連して、現在どのような問題が起こっていると思いますか。知っていること、聞いたことがあることなどを書いてください。

【2】次の事例を読んで、自分ならどう考え行動しますか。下の選択肢の中から選び○をつけ、選んだ理由を記入してください。(複数可)

ある日、インターネットを利用している時に、自分の住んでいる地域が「同和地区」、「被差別部落」であると取り上げた動画サイトを見つけた。このサイトでは、この地区を撮影した動画が投稿されていて、住所を示しながら、「この地区に住んでいる人とは関わらない方がよい」と述べていた。

- () ①あくまでも噂だととらえ、一切気にせず何もしない。
- () ②不適切な情報で不安になるが、何もしない。
- () ③掲載内容について詳しく知るために、本やインターネットなどで調べる。
- () ④家族や友人、知人に相談する。
- () ⑤地方法務局などの人権相談窓口に連絡する。
- () ⑥動画サイトのコメント欄にコメントを書き込んだり、「低い評価」をタップしたりする。
- () ⑦動画サイト運営者に対して、削除依頼または不適切投稿であることを報告する。
- () ⑧その他()

< 選択した理由 >

